

石のひっこじ だより

〈開館時間〉9:00～17:00
〈休館日〉月曜日（祝日の場合は翌日）

平尾台の地形いろいろ

平尾台には独特な地形がたくさんあります。シリーズでご紹介します。

【ピナクル・カレン】

石灰岩をはじめとする炭酸塩岩が二酸化炭素を含む雨水によって溶食を受け、その結果、溶食凹地が形成されます。露出している岩の表面に多くの溶食溝の**カレン**が形成され、稜線の切り立った露出している岩の塊がそそり立つ物を**ピナクル**といいます。



【円頂ピナクル】

平尾台の石灰岩は熱変成を受けて再結晶している為、粒子が粗く表面がポロポロと風化されています。そのため丸い形のピナクルとなったのです。



カレンは溶食溝の事を差すので、岩に出来た筋や溝もカレンですが、岩と岩の間（大きな溝）もカレンといえます。

☆何に見えるかな??



“何に見えるかな??” 第2弾!
さあ、何に見えますか?

先月号の二つは何に見えた?
左: カメ、右: ゴリラに見えなかったかな?



この二つもピナクルなんだよ!



明けましておめでとうございます。

昨年中はたくさんの方々にご来館いただきましてありがとうございました。

今後も平尾台の自然を大切に、皆さまに親しんでいただくために職員一同頑張っていきたいと思っています。みなさまのご協力を賜りますよう、よろしくお願い致します。

平尾台自然観察センター職員一同



■イベント報告■

～アースアート教室～

平成14年12月1日(日)に「アースアート教室」を開催しました。ツルや枯葉、木の実などを使ってクリスマスツリーや正月飾りを制作しました。

みなさん講師の方からア



ドバイスを受けながら、自由な発想で作品に取り組んでいました。個性的な作品がたくさん出来上がりました。

午前中にみなさん出来上がり、午後からは希望者の方々とフィールドの散策を楽しみました。

【平尾台マメ知識】

＜霜と霜柱＞

今年は例年に比べ霜がおきる時期が早いようでした。天気が良い日の早朝は放射冷却で霜がおきている事が多くなってきました。そういう日に貫山方面や周防台方面に行くと霜柱が見られます。中には10cmほどある物もあります。

霜: 大気中の水蒸気が0℃以下に冷えた地物などに結晶状に昇華する現象。

霜柱: 地中の水分が地中または地面で柱状の氷の結晶となって析出したもの。

※平尾台は北九州国定公園に指定されていますので、植物採取は禁止されています。このイベントで使用したものは平尾台で採取された物ではありません。

パトロールのひとり言

先日、雪が降った日の事ですが、センターや平尾集落のあたりでは、午後から雨混じりに変わってきました。しかし、中峠から、広谷辺りはまだまだ雪。貫山や水晶山には、積雪が残っていました。平尾台上でも場所によって気温差があるんだなあとしみじみ思います。

(12月15日)

☆イベント情報☆

●アートフラワー講習会

布切れと針金を使って平尾台の野の花を作ります。
開催日時: 2月7日(金)
(10:00～16:00)

対象: 一般10人
(材料費: 2000円程度)
申込締切: 1月31日(金)
申込方法: 往復ハガキ

●大地の息吹

冬の平尾台の洞窟の自然現象を見てみよう。
開催日時: 2月9日(日)
(9:00～16:00)

対象: 一般20人
申込締切: 2月2日(日)
申込方法: 往復ハガキ

※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。

※複数で申し込まれる方は全員の氏名、年齢を明記してください。

※イベントの開催日、内容等が変更になる場合があります。ご了承ください。

石のひっじ だより

平尾台の地形いろいろ

平尾台には独特な地形がたくさんあります。シリーズでご紹介します。

【ポノール】

地表水が吸い込まれて地下水系に入る入口をさす。ドリーネの底などに分布する。



平尾台にもポノール（陥没穴）が随所に見られます。写真の二つは道路脇にあります。最初は目立たないくらいの穴だったのが、だんだん大きく広がってきています。草が生い茂ると穴がわかりにくくなります。草むらに入るときは、足元に十分注意しましょう。

語源: スロベニア語、セルボクロアート語で凹地や窪みをさす言葉。



もず ☆百舌来館

寒いある日の事、3階の展望デッキに行くとドアのすぐ外にモズがいました。風が当たらないような所にうずくまり、寒そうにじっとしていました。



絶好のシャッターチャンス！急いでデジカメを取りに行き撮影（驚かさないようにドアの内側から）しました。

☆何に見えるかな??



“何に見えるかな??” 第3弾！

この中からいくつ見つけられるかな？ 3個以上はあると思いますが……。挑戦してみてくださいね。

先月号の二つは何に見えましたか？
左：おひな様
右：おぼあちゃん
ちょっと難しかったでしょうか・・・
^-^;

平尾台雪景色



この冬は2度（クリスマス期と正月期）の寒波の訪れで平尾台もすっかり銀世界。昨冬は暖かく雪がほとんどなかったのが、久しぶりのまとまった積雪になりました。12月末の積雪は7cm（センター内）ありました。お正月の寒波の時は、風が強かった為に思ったほど積もりませんでした。



気温が低い日が続いた為、路面がアイスバーンになり車の走行はもちろんのこと、歩行にも注意が必要でした。

冬休みという事もあって、たくさんの家族連れが雪と戯れ、平尾台にたくさんの雪だるまが出現していました。

平尾台クリーン大作戦 参加者募集！

みんなで平尾台をきれいにしよう！

- ◎開催日時：3月9日（日）10:30～16:00
 - ◎定員：なし
 - ◎申込方法：ハガキ、電話、FAX、Eメール
 - ◎申込締切：2月28日（金）
 - ◎持参品：昼食、飲料水、軍手
 - ◎服装：ハイキングの出来る服装（野焼きの後なので汚れてもよい服装）
- みなさんのご応募をお待ちしております！

【平尾台マメ知識】

ひょうじゅん <氷筍>

洞窟の天井から落ちた地下水が滴り落ち、地面で凍りついて天井に向かって徐々に伸びて形成されます。太さの違いは微妙な温度変化によると言われて、外気の影響を受ける入口に近いほうで大きな氷筍が出来やすいです。

平尾台でもドリーネの底や洞窟に冷気がたまり、氷筍や壁氷ができることがあるようです。今年は見られるのでしょうか。

☆イベント情報☆

●野焼き見学会

平尾台での野焼きの役割についてレクチャー。その後に見学
開催日時：3月2日（日）
（9:00～12:00）

対象：一般50人
申込締切：2月23日（日）
申込方法：往復ハガキ
※日時が変更になる場合があります。

●アートフラワー講習会

布切れと針金を使って平尾台の野の花を作ります。
開催日時：3月7日（金）
（10:00～16:00）

対象：一般10人
（材料費：2000円程度）
申込締切：2月28日（金）
申込方法：往復ハガキ

※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。

※複数で申し込まれる方は全員の氏名、年齢を明記してください。

※イベントの開催日、内容等が変更になる場合があります。ご了承ください。

パトロールのひとり言

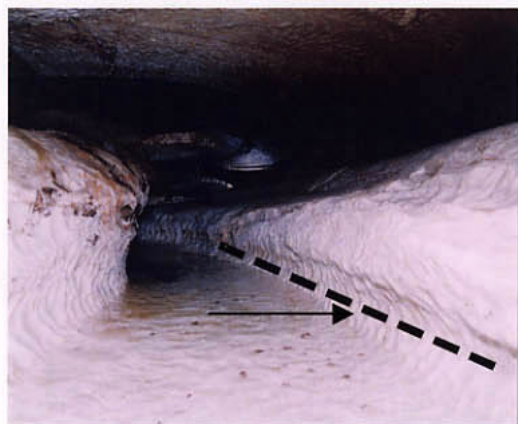
散策日和という日が少ない季節ですが、それでも余程の荒天以外は、パトロール中に散策者か写真撮影の人々に出会います。やはり、それぞれの人にそれぞれの平尾台があるという事の表れなのかもしれませんね。

石のひっこじ だより

平尾台の地形いろいろ

平尾台には独特な地形がたくさんあります。シリーズでご紹介します。今回から地上から地下へ目を移して見ましょう。

【ノッチ、スカラップ】



〈溶食ノッチ〉

洞窟の内部に溶食作用（主に水の流れ）によって形成される水平方向の窪み。上の写真は青龍窟。



〈スカラップ〉

鍾乳洞内の天井、洞壁、洞床に見られる一定方向に配列した小さい皿状のくぼ地。流水による溶食と浸食作用の結果生じたもの

ので、その縦断面形は流水の方向に支配されている。また、長径はそれを形成した水流の流速と逆比例の関係にあり、流速が速いほど、長径は短くなる事が知られている。

〈「カルスト」(大明堂) 参照〉

☆ピナクル百面相？



■イベント報告

～大地の息吹ハイキング～

2月9日（日）に「大地の息吹ハイキング」を開催しました。洞窟から出る白い水蒸気を観察しようとしたのですが、この日は2月にしては暖かく、見る事が出来ませんでした（残念！）それでも、洞窟から吹き上がる風を感じたり、コウモリを間近で見たりと、楽しいハイキングでした。



平尾台を彩る花々

〈新訂 牧野新日本植物圖鑑（北隆館）参照〉



トウダイグサ
(とうだいくさ科)

路傍などにはえる越年草で、秋の終り頃にはえ、越年し春に茂る。高さ25～35cm。茎を切ると乳白色の汁がしみ出る。日本名は草の形が灯台（昔あかりに使った灯架）に似ている事から。



ユリフサビ(あぶらな科)

山地の谷川沿いの森林中にはえる多年生の小形草本。4月頃に15cm位の茎を数本立て頂きから総状花序を出し、白色小形の十字状花をつける。日本名はユリの鱗茎のようになり、香味はわさびと同じであることから。

【平尾台マメ知識】

〈雪〉

雲から降って来る氷の結晶。

〈ひょう〉

対流性の雲から降る直系5mm以上の球形、または塊状の氷。

〈あられ〉

雲から降る直径数mm程度またはそれ以下の氷。

〈みぞれ〉

雨に湿雪が混じった降水。または解けかかった雪の降水。

〈雨〉

大気中の水蒸気が凝結し、水の粒に成長し、重力の為落下したもの。

パトロールの ひとり言

3月2日の野焼きの後、一大イベント、「クリーン大作戦」が行なわれます。日頃、ボランティアの方がゴミ拾いをしたり、県の環境対策事業でゴミ回収をしたりしていますが、

パトロールをしていると、まだまだゴミが目立ち、すぐにゴミ袋がいっぱいになります。昨年よりゴミの量が減っていいのですが・・・

☆イベント情報☆

●木星・土星観察会

天体望遠鏡で惑星を観察しよう。

開催日時：4月2日（水）
（17:00～22:00）

対象：一般50人
（高校生以下保護者同伴）

申込締切：3月26日（水）
申込方法：往復ハガキ

●散策コースガイド研修会

センターお勧め7コースの研修会。

開催日時：4月6日（日）
（9:00～16:00）

対象：20人（18歳以上）

申込締切：3月30日（日）

申込方法：往復ハガキ

●アートフラワー講習会

布切れと針金を使って平尾台の野の花を作ります。

開催日時：4月18日（金）
（10:00～16:00）

対象：一般10人
（材料費：2000円程度）

申込締切：4月11日（金）
申込方法：往復ハガキ

●春の平尾台ハイキング

うらかな春の日差しの中、草原の平尾台をハイキングしよう！

開催日時：4月29日（みどりの日）
（9:00～15:00）

対象：30人（小学校3年生以上）

申込締切：4月22日（火）

申込方法：往復ハガキ

※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。

※複数で申し込まれる方は全員の氏名、年齢を明記してください。

※イベントの開催日、内容等が変更になる場合があります。ご了承ください。

石のひっじ だより

平尾台の地形いろいろ

平尾台には、地下にも独特な地形がたくさんあります。シリーズでご紹介します。



【アナストモシス】

地下水面下で石灰岩の中の節理や層理に沿った溶食の結果生じた天井や壁に認められる複雑に入り組んだ溶食管。大きさは、様々で石灰洞形成の初期形態とされる。

別名：網状溶食管
溶食蛇行管



【平尾台マメ知識】

<野焼き>

平尾台の春の風物詩である野焼きは、野焼き委員会での検討会議を経て、毎年2月下旬～3月上旬頃に実施されます。災害（山火事）防止や病虫害の駆除等を目的に行なわれる野焼きですが、以前は、竜ヶ鼻や広谷台、天狗岩等を含め、広範囲に火入れしていたそうです。現在では特別保護地区を中心に330haと規模を縮小していますが、それでも野焼き当日は、関係者の心配や苦労は並々ならぬものと思います。

毎年、多くの見学者が野焼き見物に来るにもかかわらず、大きな事故がないのも、そういった野焼き関係者の大変な努力があってこそなのでしょうね。



☆何に見えるかな??



“何に見えるかな??” 第5弾！先月号の「ピナクル百面相？」いかがでした。

■イベント報告■

～野焼き見学会～

平成15年3月5日（水）に「野焼き見学会」を行ないました。

当初予定されていた2日の野焼きは、前日の雨の為、順延されましたが、当日もあまり天候が良くなく、午前中で野焼き打ち切りとなりました。



野焼き見学会は午前中のみ予定だった為、順調に行なわれましたが、火の付き具合が良くなく満足のいく見学会とはいかなかったのが残念です。（野焼きは12日に2回目を実施され、完了しました。）



～クリーン大作戦～

今年で3回目を迎える「平尾台クリーン大作戦」は、天候不順の為、中止になりました。

可能な限り行なう予定で天気の様子を見ていたのですが、当日朝の天候が、雨及び濃霧、また前線の影響で雷の予報も出て、やむなく中止の決定をしました。

参加の予定をしていた方々に御迷惑をかけた事、お詫びいたします。

昨年の風景



職員紹介

3月から平尾台自然観察センターで働く事になりました巻岐尾理恵です。

平尾台には小さな頃からよく遊びに来てましたが、まだまだ知らない事ばかりです。これから勉強してはやく一人前になれるように頑張っていこうと思います。どうぞよろしくお願ひします。



☆イベント情報☆

●野鳥観察研修

さえずり期の野鳥の観察勉強会
開催日時：5月11日（日）
（7:00～12:00）
対象：10人（18歳以上）
申込締切：5月4日（日）

●アートフラワー講習会

布切れと針金を使って平尾台の野の花を作ります。
開催日時：5月16日（金）
（10:00～16:00）
対象：一般10人
（材料費：2000円程度）
申込締切：5月9日（金）
申込方法：往復ハガキ

●バードウォッチング

平尾台の野鳥を観察しよう
開催日時：5月17日（土）
（7:00～11:00）
対象：一般15人
申込締切：5月10日（土）

●自然観察入門

ゲームを通じて自然観察しよう
開催日時：5月25日（日）
（9:00～16:00）
対象：一般20人
申込締切：5月18日（日）

※イベントの開催日、内容等が変更になる場合があります。ご了承ください。

パトロールのひとり言

パトロールをしていると春の到来が肌で感じ取れるようになってきました。ヒバリの声、フキノトウの芽吹きなど、台上の春もすぐそこまで来ています。真っ黒な平尾台もすぐに緑色に変わっていくことでしょう。

石のひっこじ だより

平尾台の地形いろいろ

平尾台には、地下にも独特な地形がたくさんあります。シリーズでご紹介します。

【ペンダント】



＜ペンダント＞

天井から母岩である石灰岩が垂下しているような溶食状態

＜ポットホール＞

水流の浸食作用によって床に穿られたくぼみ（甌穴）

【ポットホール】



カルスト号誕生!!

4月1日よりおでかけ交通平尾台線“カルスト号”が運行を開始しました。

停留所	土・日・祝(3月～11月)・夏休み
発 中谷車庫	9:10 10:15 11:20 14:00 15:05
	16:10
着 センター	9:35 10:40 11:45 14:25 15:30
	16:35

途中の停留所は、JR石原町駅、平尾台入口、興農館前、梨本橋、井手浦口、吹上峠、平尾台自然の郷です。平日は午前午後1便です。

その他、詳しいお問合せは下記まで



お問合せ先
平尾台観光タクシー(株)
093-451-0201

近隣情報!!

4月20日(日)に“平尾台自然の郷”がオープンしました。22haの広大な敷地に、「ものづくり」をテーマにした各種工房やレストランなどがあるヴィレッジゾーン、のんびりくつろげる芝生広場や高原音楽堂がある広場ゾーン、その他「半自然草原 平尾台」の環境を再現した野草園やそば畑、子供たちにはローラー滑り台や洞窟を疑似体験できる遊び場などと、とても1日では遊びきれないような体験型施設です。是非一度、といわず何度でも、遊びに行ってみてください。今後は、一緒に平尾台をもっともっと盛り上げていこうと思います。

平尾台自然の郷
093-452-2715



■イベント報告■

～散策コースガイド研修～

4月6日(日)に散策コースガイド研修を行ないました。天候もよく、絶好のハイキング日和となった当日は、参加した皆さんの足どりも軽く、地形や野草などの平尾台の特徴や自然保護、ゴミの現状など、さまざまな研修内容に真剣に取り組んでいました。

参加者には好評でイベント終了後、一般参加者の中から3人の方が新しくボランティアに登録してくださいました。



研修風景

新館長就任あいさつ

はじめまして!! 平尾台自然観察センター館長の香月です。今年の4月から、この豊かな自然に囲まれた当センターで毎日楽しく仕事をさせていただいております。

今、平尾台は春本番です。小鳥のさえずりが聞こえる草原には、たくさんの花が毎日のように新しい顔を覗かせて、私たちを楽しませてくれています。特に今の季節は気候もよく、多くの人たちが平尾台を訪れて、ルールを守り、思い思いに散策を楽しんでいます。この素晴らしい自然を残していく為には、より多くの人達に平尾台の素晴らしさを知っていただくことも大切な事だと考えています。

皆様も是非一度、平尾台にいらしてみてください。当センターのスタッフ一同、皆様のご来訪を心よりお待ちしております。



パトロールのひとり言

野焼きも終り、フィールドはさまざまな野草たちが目を楽しませてくれるようになりました。しかし、同時に山菜取りの人たちも目立ちはじめました。

平尾台は国定公園に指定されています。また、植生保護の面からも植物採取は行なわないようお願いします。

☆イベント情報☆

●広谷湿原ハイキング

湿原やその周辺のハイキングを楽しもう

開催日時：6月15日(日)
(9:00～16:00)

対象：20人

申込締切：6月8日(日)

●アートフラワー講習会

布切れと針金を使って平尾台の野の花を作ります

開催日時：6月20日(金)
(10:00～16:00)

対象：一般10人

(材料費：2000円程度)

申込締切：6月13日(金)

申込方法：往復ハガキ

●不動坂ハイキング

行橋方面に下る旧道の不動坂周辺のハイキング

開催日時：6月29日(日)
(9:00～16:00)

対象：一般20人

申込締切：6月22日(日)

※往復ハガキにイベント名と参加される方全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。

※イベントの開催日、内容等が変更になる場合があります。ご了承ください。

☆イベント中止のお知らせ

4月2日(水)に予定していましたが「木星・土星の鑑賞会」は悪天候の為、中止になりました。(T_T)

“何に見えるかな??”はお休みします。

先月号はいかがでした?ライオン(獅子)にみえませんでしたか。

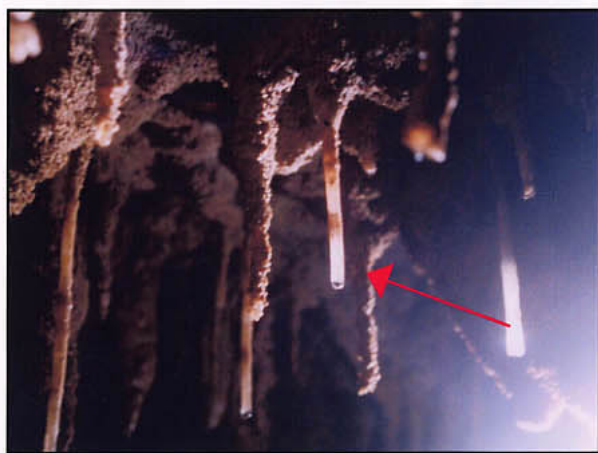
石のひっこじ だより

※ 6月1日より平尾台地区の住居表示が新道寺から平尾台に変わりました。

平尾台の地形いろいろ

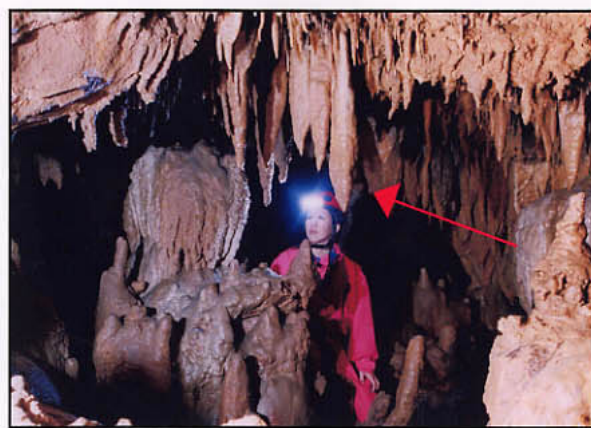
【二次生成物】

洞窟形成が最盛期を過ぎると洞窟内に方解石が沈せきしていろいろな鍾乳石ができます。



【つらら石】

ストローの外側を水が流れるようになるとその外側にも方解石が沈せきしつらら石に成長します。方解石の沈せきは、上のほうで多く下のほうは少ないため逆三角形になります。中心には、ストローがあります。



【ストロー】

洞窟の天井からしみだした水が天井に滴をつくってぶら下がり表面から二酸化炭素が逃げ出す。その結果、方解石(石灰分)が水滴の縁に沈せきし、ストローの形をした管が下にむかってのびます。中は空洞で別名管状鍾乳石といえます。

平尾台では、よく野良犬や野良猫がいます。飼いきれなくなった人がペットを捨てていくのでしょうか、先日も吹上峠駐車場に子猫が3匹ダンボールの箱にいれられて捨てられていました。もらい手も見つからず、結局動物管理センターに引き取ってもらいましたが、野生動物でもペットでも繁殖時期がきます。子供が生まれるのは自然の摂理です。最後まで面倒がみれないのであれば、動物は飼うべきではないと思います。今、日本中でむやみに捨てられた動物により自然の生態系が破壊されようとしています。平尾台も例外ではありません。

【平尾台マメ知識】 <霧ともや>

山間部では雨が降ると霧やもやが発生しますが、平尾台も例外ではありません。どちらも、直径数十μm以下の微小な水滴(霧粒)が大気中に浮かんでいることが原因となって、その微小水滴が光を散乱、反射、吸収することから視界が悪くなる現象ですが、霧ともやの違いは視程距離で分類しており水平方向の視程が1km以上ある場合を“もや”、逆に視程が1km未満の場合を“霧”といえます。

■ イベント報告 ■

～平尾台ハイキング～

4月29日(日)に「平尾台ハイキング」を開催しました。センターから森を通って茶ヶ床へ行き、かがり火盆地をみながら堂金山、見晴し台、森を通ってセンター帰館というコースを38名でハイキングしました。フィールドでは春の野草を観察したり風景などを楽しんだりと天候にも恵まれ、楽しい一日でした。



～野鳥観察研修・バードウォッチング～

5月11日(日)に野鳥観察研修、17日(土)にバードウォッチングを行いました。それぞれ、センターで鳥の生態をレクチャー後フィールドに向かいましたが、11日は雨・霧という人間にとっては悪条件、野鳥にとっては好条件?で声はするけれど姿は見えず、皆さん鳥の声に一生懸命耳を傾けていました。

17日は晴天になり、2班に分かれ千仏洞の駐車場まで足を運び、茶ヶ床園地にて取り合わせ(鳥合わせ)を行いました。24種類の野鳥が確認できましたよ。また、2日とも参加された方は、天候による野鳥の行動の違いなども観察できてよかったと思います。



パトロールのひとり言

先日、吹上峠駐車場に大型ユニック車が2日間放置されていました。不審に思い、車輦にあった所在地に電話してみると盗難されていた事がわかり、引き取りにきました。警察によると、最近小型重機やユニック車等の盗難事件が以前より増えてきているそうです。

職員紹介

平尾台自然観察センター勤務3年の梁井です。街でのサラリーマン生活より一変して大自然の中へ入った時は大感動でした。鍾乳洞探検などもできるようになりました。また、見た事もない野草を自分で発見した時など感動ものです。北九州市街から約30分のところにこんな良い自然があることを多くの人に知って欲しいですね。これからもこの雄大な自然を大切に守っていこうと思います。



☆ イベント情報 ☆

● アートフラワー講習会

布切れと針金を使って平尾台の野の花を作ります。
開催日時: 6月20日(金)
(10:00～16:00)
対象: 一般10人
(材料費: 2000円程度)
申込締切: 6月13日(金)
申込方法: 往復ハガキ

● 広谷湿原ハイキング

広谷湿原周辺のハイキング
開催日時: 6月15日(日)
(9:00～16:00)
対象: 一般20人
申込締切: 6月8日(日)
申込方法: 往復ハガキ

● 不動坂ハイキング

旧道の不動坂周辺のハイキング
開催日時: 6月29日(日)
(9:00～16:00)
対象: 一般20人
申込締切: 6月22日(日)
申込方法: 往復ハガキ

※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。
※イベントの開催日、内容等が変更になる場合があります。ご了承ください。

観察センター1階の軒下にツバメが巣をかけました。二年ぶりのできごとに職員はひながかえるのを心待ちにしています。ところでツバメもその昔はアマツバメやイワツバメのように山や海の岩壁などに営巣していたそうです。



石のひつじ だより

平尾台を彩る花々



カワラナデシコ

カワラナデシコ (ナデシコ科)
山野の日当りのよい草原や河原などに生える多年草。茎は直立し、上部で枝分かれして30～100cmになる。花弁は5個、長い爪部があり、先は深く裂け、基部にひげ状の毛がある。花期は6月から9月くらいまで。

ヒオウギ (アヤメ科)
山地の草原に生える50～100cmの多年草。高さ60～100の花茎をだし、上部は2～3に枝分かれし、へら状の苞葉がつく。花は4～6cm。花期は7月～9月くらいまで。



ヒオウギ



ウツボグサ

ウツボグサ (シソ科)
北海道～九州、北半球の温帯に広く分布し、日当りのよい草地に生える多年草。茎は四角で、根もとから群がって生え、高さ20～30cmになる。花期は6月～8月くらいまで。

☆ツバメのヒナ誕生☆

先月号で紹介しましたツバメの巣にヒナが4羽誕生しました！！親はえさも1日に何回も運んで来て、子育てに頑張っています。とてもかわいくて見ていると心が癒されます。毎日観察をあるのが楽しみです。



【平尾台マメ知識】 ～ガビチョウ～

最近、フィールドを歩いたときに「キョロキョロ、キョキョキョ、フィロロロ、フィーヨフィーヨ・・・」という大きな鳴き声を聞いた事ありませんか。正体は、ガビチョウという鳥です。日本にはいない鳥で元々は中国原産にてペットとして日本に輸入されてきたそうです。その鳥が、かごぬけ(飼い主が意識的に放したのも含む)して野生化してきているようです。

先日、中峠の散策道筋でその姿を確認しました。本などには、警戒心が非常に強く、人間が近づくとすぐに逃げると書いていましたが、その個体は5mくらいまで近づいても鳴きつづけていました。かごぬけしたばかりの個体なのかもしれませんね。こんなところにも人間の影響ができています。

■イベント報告■

★自然観察入門★

5月25日に『自然観察入門』のイベントを行ないました。当日は、雨の中平尾台を散策しながら、木に耳をあて、木の音、木の鼓動(自然の音)を耳を澄まして聞いたり、風景を見てスケッチをしたりしました。スケッチは3分間という時間が決められていましたが、みなさん必死になって時間が過ぎても一生懸命



書いていました。風景の絵は描くのが難しいみたいでした(^_^;)。その他も、五感を使って自然を体感したりといい経験になったと思います。



★広谷湿原ハイキング★

6月15日に『広谷湿原ハイキング』を行い、センター～平尾分校前～深窪～茶ヶ床園地～中峠～広谷湿原～広谷台～四方台～岩山～くらはずし～平尾分校前～センターというコースを散策しました。

広谷湿原に咲く花はとてもキレイで、花の種類もたくさんあり、参加していただいたみなさまにも好評でした。「時間の過ぎるのを忘れるほど楽しい一日でした」という参加者からのお声もいただき、ヨカッタと思います。



職員紹介

こんにちは。フィールドパトロールの高木です。昨年の8月から観察センターで勤務を始めてそろそろ1年がたとうとしています。自然の多様性には、いつも感心させられています。昨日と今日似た様な日でも目をこらせばどこか違ってきます。雲の動きや風の流れ、フィールドを歩くと昨日まで見られなかった花たちが、咲き始めていたり。冬の寒い朝、雪が積もり出勤に気をつかう日もパトロールに出れば、誰もいない雪道に動物達の足跡が。時には、うさぎやいのししが足をすべらせしりもちをついたりしてたり(^_^;) この自然のいとなみを多くの人々に伝えられる様も腕に磨きをかけ(目ざすは自然観察マイスター?) パトロールやイベントを行なっていこうと思います。



☆イベント情報☆

●天体観測実習

天体望遠鏡を使って天体観測の仕方を学習する。

開催日時：7月6日(日)

(19:00～22:00)

対象：一般20名(小学生以上、高校生以下保護者同伴)

申込締切：6月29日(日)

申込方法：往復ハガキ

●夜の平尾台研修

夜の自然観察会。

開催日時：7月6日(日)

(15:00～翌朝7時)

対象：10名

申込締切：6月29日(日)

申込方法：往復ハガキ

●アートフラワー講座

平尾台の季節の野草を針金と布切れを使って作ります。

開催日時：7月18日(金)

(10:00～16:00)

対象：一般10名

申込締切：7月11日(金)

申込方法：往復ハガキ

申込み希望者は、※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。

※イベントの開催日、内容等が変更になる場合があります。ご了承ください。

パトロールのひとり言

徒歩での巡視中にはいろんな発見があります。今年初めて開花した花、今年初めて聞く小鳥のさえずり、キジの縄張り争い、ここ平尾台では、いろんな花が咲き、多くの小鳥が飛びかう、今からが夏本番です。

石のひっじ だより

平尾台を彩る花々



ネジバナ（ラン科）

日当りのよい野原の芝地、芝生などに生える多年草。群生することもある。葉の間から10～30cmの花茎をだして、桃赤色の小花が咲く。花期は7月から8月くらいまでです。



サギソウ（ラン科）

湿地に生える高さが20～50cmの多年草。花は白色で3cmほど。距は長さ3～4cmで垂れ下がり、先の方はしだいに太くなる。花期は7月末から8月いっぱいです。

【平尾台マメ知識】

～ヤマカガシ～

平尾台を散策していると、危険な生物に出会います。それはヤマカガシというヘビです。平尾台には他にもいますが、今回はヤマカガシの紹介をします。ヤマカガシはおとなしいヘビで人間のほうから手を出さなければ、ヤマカガシから害を加えることは考えられないそうです。もし噛まれたら、局部を洗って静かに待ちましょう。半日、一日以内に異常が生じなければ安心。歯ぐきや古傷からの出血などの症状が現われたら病院へ急ぎましょう。散策の途中、ヘビを見ても近づかないことです。

何に見えるかな??

何に見えるかな??第6段!!
いろいろ考えてみましょう★



☆イベント報告書☆

～不動坂ハイキング～

6月29日（日）に不動坂ハイキングを行いました。センターから千貫岩の横を通り、風の祠（風の神）を見て行橋へ向かう旧道（不動坂）を下って千仏の方に行きました。昔は行橋の人が平尾台に行くのに、この道を通っていたそうです。不動坂に行ったことがない人も多く、みなさん初めてのコースに興味しんしん。ハイキングを楽しんでいました。また、ボランティアも新しく2名登録していただきました(^-^)/



パトロールのひとり言

☆キジの親子

梅雨明けも近いと思われる今日ですが、平尾台ではまだまだ、梅雨明けには至らないようです。そんな雨上がりにキジの親子に会いました。ネザサの中から、お母さんのあとをヨチヨチと1羽のヒナがおくれまいとついていきます、キジは7、8個の卵を産むといわれます、ほほえましい気もしますが?

☆イベント情報☆

●アートフラワー講座

平尾台の季節の野草を針金と布切れを使って作ります。

開催日時：8月22日（金）
（10:00～16:00）

対象：一般10名

申込締切：8月8日（金）

申込方法：往復ハガキ

●貫山早朝登山

朝のさわやかな時間に貫山の眺めを楽しもう!

開催日時：8月31日（日）
（4:00～10:00）

対象：一般20名

申込締切：8月10日（日）

申込方法：往復ハガキ

●石灰石鉱山見学

石灰石は私たちの生活にどのように使われているのか?

開催日時：9月13日（土）
（9:30～12:00）

対象：一般10名

申込締切：9月6日（土）

申込方法：往復ハガキ

申込み希望者は、※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。※イベントの開催日、内容等が変更になる場合があります。ご了承ください。

☆イベント中止のお知らせ

7月6日（日）に予定していました「天体観測実習」と「夜の平尾台研修」は悪天候の為中止になりました(T_T)

石のひっこじ だより

平尾台を彩る花々



ジンジソウ

★ジンジソウ★

山地の溪流沿い、老木上などに生える多年草。花茎は高さ10cmから35cmになり、多数の白い花をつける。下に垂れた花弁が漢字の人の字に似ていることから人字草の名がある。

花期：9月から11月。



センブリ

☆センブリ☆

日当りのよい山野に生え、花冠は白色で、紫色のすじがある。センブリは、古くから胃腸薬として知られている。

花期：9月から11月。



リンドウ

★リンドウ★

秋の山に咲く多年草。青紫色の美しい花は長さ4cmから5cmある。根茎を乾燥したものは薬用に使われる。

花期：9月から11月。



☆ナギナタコウジュ☆

花全体に強いにおいがあ
る。枝先に長さ5cmから10cm
のナギナタ状の花穂をだす。

花期：9月から10月。

先月号の何に見えるか
な??は「UFO」に見えませ
んでしたか?



☆イベント報告☆

8月3日(日)に「沢登り」のイベントを行ないました。当日は、天候がよく、絶好の沢登り日和だったが、滝を流れる水の量が比較的多く、皆さん、登るのに苦労している様子でした。小学校4年生から上は69歳までの37名が参加し、それぞれ、一生懸命滝を登って、全長1.2kmを4時間かけて全員無事に目的地まで到着しました。参加者からは、初体験でとまどったが、とても楽しかったと言って頂けました。

涼しくて、とても楽しく、夏には最適なイベントでした。



【平尾台マメ知識】

～三点支持～

「三点支持」とは四本の手足のうち、常に三本で体を支え、残った一本で次の支点をとらえ、この動作を連続させて体を移動させるものです。

三点支持といえば岩登り（ロッククライミング）を連想される方が多いでしょう。しかし、岩登りに限らず散策中にちょっと段差があつて危ないと感じる所でも、三点支持を意識すると危険を回避できます。

平尾台で盛んになっているケイビングでも役に立つのです。

パトロールのひとり言

夏から秋にかけて平尾台では多くの山野草が咲き誇っています。以前には盗掘また野草など持ち帰る散策者やハイカーが多く見られましたが、最近ほとんど見かけなくなりました。これは平尾台を訪れる方に自然を大切にしようという思いが広まったからだだと思います。これからもマナーを守り自然を大切にしましょう。

☆イベント情報☆

●石灰石鉱山見学会

石灰石は私たちの生活にどのように使われているのか?

開催日時：9月13日(土)
(9:30～12:00)

対象：一般10名

申込締切：9月6日(土)

申込方法：往復ハガキ

●アートフラワー講座

平尾台の季節の野草を針金と布切れを使って作ります。

開催日時：9月19日(金)
(10:00～16:00)

対象：一般10名

申込締切：9月12日(金)

申込方法：往復ハガキ

●トレッキング教室

山歩きの初心者のための教室。

開催日時：9月28日(日)
(9:30～15:00)

対象：一般20名

申込締切：9月12日(金)

申込方法：往復ハガキ

申込み希望者は、※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。※イベントの開催日、内容等が変更になる場合があります。ご了承ください。

☆イベント中止のお知らせ

8月12日(火)に予定していました「ペルセウス座流星群鑑賞会」と8月17日(日)に予定していました「広谷湿原ハイキング」は悪天候の為中止になりました(T_T)

石のひっこじ だより

平尾台の花 平尾台の景色



ウメバチソウ（ユキノシタ科）



太平山 標高：586.5m



ムラサキセンブリ（リンドウ科）



ススキ（イネ科）



【イベント報告】

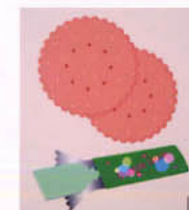
8月31日（日）に貫山早朝登山のイベントを行いました。早朝の4時30分に出発。外はまだ暗いので、ヘッドランプを照らしながら、中峠を通り、四方台より貫山へ。貫山を登る途中ではとてもキレイな行橋の夜景が見えましたが、周防灘から真っ赤な太陽が姿を見せると、みんな感動しました。

※参加者からは、「朝日がみられてたいへん嬉しかった。」「参加してよかった。」と言っただき、イベントは好評でした。



【イベント報告】

9月13日（土）に石灰石鉱山見学会のイベントを行いました。小倉興業株式会社の方に協力をしていただき、実施しました。鉱山はあまり見学することはできないので、参加者のみなさんはとても興味しんしんです。石灰石は、蛍光灯、食器、歯磨き粉、紙、肥料などの原料になります。工場で会社の方に説明をしていただき、参加者のみなさんもうごく勉強になったと思います。



パトロールだより

季節も夏から秋に変わりました。平尾台では、ススキなどの植物が目立ち始め、虫の鳴き声もセミから鈴虫に変わり、山の景色もキレイな緑色がだんだん茶色に変わってきています。平尾台で秋になったと実感する今日このごろです。

☆イベント情報☆

●塔ヶ峰紅葉ハイキング

塔ヶ峰の紅葉を楽しみながらのハイキング。

開催日時：11月9日（日）
（9:30～16:00）

対象：一般20名
申込締切：10月25日（土）
申込方法：往復ハガキ

●アートフラワー講習会

平尾台の季節の野草を針金と布切れを使って作ります。

開催日時：11月21日（金）
（10:00～16:00）

対象：一般10名
申込締切：11月14日（金）
申込方法：往復ハガキ

●防火帯一周ハイキング

防火帯をたどれば平尾台を一周できるよ！

開催日時：11月23日（金）
（9:30～16:00）

対象：一般20名
申込締切：11月10日（月）
申込方法：往復ハガキ



●平尾台歴史探訪会

平尾台の昔をしのばせる場所を訪ね歩こう。

開催日時：12月14日（日）
（9:30～16:00）

対象：一般20名
申込締切：11月25日（火）
申込方法：往復ハガキ



申込み希望者は、※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。
※イベントの開催日、内容等が変更になる場合があります。ご了承ください。



石のひっじ だより

平尾台を彩る花々



シマカンギク (キク科)
山地などの日当たりのよいところに生える多年草。頭花は、2.4～2.6cm。黄色の舌状花は雄花で20個ぐらい1列に並び、筒状花は黄金色で中央に密集する。花期は、10月から12月まで。



ムラサキセンブリ (リンドウ科)
温帯に広く分布する2年草。茎は直立して上部で枝分かれし、暗紫色を帯びて20～50cmになる。和名は花の色に由来する。



ウメバチソウ (ユキノシタ科)
山の麓や高山の日の当る所にはえる多年生草本。高さ10～40cm。夏秋の頃に梅の花に似た白い花をつける。日本名「梅鉢草」は花の形が梅鉢の紋に似ているので言う。



ヤマラッキョウ (ユリ科)
葉は円柱形で長さ20～50cmあり、断面は純三角形をしている。花茎の先端に多数の紅紫色の花を球状につける。花期は9月から11月まで。

【平尾台マメ知識】

〈リュックの詰め方 (パッキング)〉
リュックの改良が進み、荷物を放り込んでも形が整い、パッキングが楽になったとはいえ、上の方に重心があった方が背負いやすい。下から、非常食、着替え、食料など。背中にあたる部分に、やわらかいセーターなど。上部のポケットにはカメラ、水筒。雨具は上。必要なものがすぐ取り出せるようパッキングする。

■イベント報告■

～トレッキング教室～

9月28日(日)に「トレッキング教室」を開催しました。地図の見方や、コンパスの使い方、靴ひもの締め方などのレクチャーをした後、ハイキングをしました。コンパスの使い方を知らない人もいて、ボランティアの方がわかりやすく教えていました。参加者は、「地図の見かたなどが、勉強できて、たいへん参考になり、一日楽しかった。」と喜んでいました。



■イベント報告■

～平尾台秋風ハイキング～

10月19日(日)に「平尾台秋風ハイキング」を開催しました。天狗岩から周防台をめぐる、周防灘方面が一望できるコースで、当日は、好天に恵まれ、絶好のハイキング日和となりました。途中、昼食のため休んだ桶ヶ辻ではたくさんのパラグライダーが飛び立つのを近くで見られ、初めてのコースだったこともあり、参加者は、「景色もコースもすべて満足です。」と喜んでいました。



バトロールだより

秋もふかまり、みんなを楽しませてくれた花々も終わろうとしています。これからの平尾台では、草紅葉のはじまりです。草原が、だんだんと紅く黄金色へと色づく様子が12月頃までみることができます。

☆イベント情報☆

●防火帯一周ハイキング

冬の乾燥時期の山火事の延焼を防ぐために作られる防火帯。防火帯をたどれば平尾台を一周できるよ!

開催日時: 11月23日(日)
(9:30～16:00)

対象: 一般20名
申込締切: 11月10日(日)
申込方法: 往復ハガキ

●アートフラワー講習会

平尾台の季節の野草を針金と布切れを使って作ります。

開催日時: 11月21日(金)
(10:00～16:00)

対象: 一般10名
申込締切: 11月14日(金)
申込方法: 往復ハガキ

●天狗岩ハイキング

周防灘を眺めながら、天狗岩を目指そう!

開催日時: 12月14日(日)
(9:00～15:00)

対象: 一般20名
申込締切: 11月25日(月)
申込方法: 往復ハガキ

申込み希望者は、※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。

※イベントの開催日、内容等が変更になる場合があります。ご了承ください。

石のひっこじ だより

平尾台の地形いろいろ



【フローストーン】

洞壁・洞床を薄く覆った地下水の中から沈積した洞窟生成物の一般的呼称。流れ石、石灰華とも呼ぶ。



【スカラップ】

洞壁や床、天井に浸食された浅い非対照のうろこ状(ホタテ貝状)のくぼみ。水流の渦によって穿たれる。過去における水流の方向および、流速を知ることができるといわれている。

■イベント報告■

～平尾台紅葉ハイキング～

平成15年11月9日(日)に「平尾台紅葉ハイキング」を開催しました。散策の途中の道で夏に開花するカワラナデシコや、ナンバンギセル、オミナエシがまだ咲いていて、参加者のみなさんを楽しませてくれました。センターに帰還する途中に通った平尾山神社では、もみじの木が紅葉していてとてもキレイ。参加者の皆様も、「充分満足しました。」といった様子で、楽しい一日を過ごしていました。



☆イベント情報☆

●アートフラワー講習会

布切れと針金を使って平尾台の野の花を作ります。

開催日時：12月19日(金)
(10:00～16:00)

対象：一般10名

(材料費：2000円程度)

申込締切：12月12日(金)

申込方法：往復ハガキ

※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。

※複数で申し込まれる方は全員の氏名、年齢を明記してください。

※イベントの開催日、内容等が変更になる場合があります。ご了承ください。

【平尾台マメ知識】

〈山歩き基本の服装(帽子)〉

落石、日射などから身を守るため、また、雨や風、寒さを防ぐためにも山では不可欠。野球帽型や登山帽型の場合は、強い直射日光が首筋に当たらないよう、ハンカチや手ぬぐいなどを帽子の下にかぶり、たらして日よけにする。ハンカチなどをぬらしておけば、涼しい。帽子には風にとばされないようにひもをつけておくこと。春・秋でも雨や風が強い日には、毛糸の帽子をかぶると上着1枚分に相当する寒さよけになる。

☆何に見えるかな??



平尾台の石灰岩は溶食されていろいろな形をしています。さて、左右の写真は何に見えるか? 想像してみてください。

パトロールだより

秋も終わりにさしかかり、朝晩は冷え込むことが増えてきました。ついこの間までは、散策者やドライブ客でにぎわっていた平尾台も天候によっては人がいない日もあります。季節の移り替りは早いですね。